

資 料 編

「在宅介護実態調査及び介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」 調査結果(概要版)

この調査は、第9期高齢者福祉計画・介護保険計画策定や今後の保健福祉施策等を検討する上での基礎資料として実施しました。概要版では、特徴のある回答等についてご報告させていただきます。アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

	在宅介護実態調査	日常生活圏域ニーズ調査
調査の対象者	町内に住む介護認定を受けている方	町内に住む65歳以上で介護認定を受けていない方
調査対象数	180名	1,156名
回答数(回収率)	110名(61.1%)	853名(73.8%)
属する世帯の状況	単身世帯(21.8%) 夫婦のみ世帯(27.3%) その他(48.2%) 無回答(2.7%)	単身世帯(16.6%) 夫婦のみ世帯(46.0%) その他(35.9%) 無回答(1.5%)

【介護認定を受けている方への調査結果(在宅介護実態調査)】

①主な介護者の状況(図1)

主に介護を行っているのは、「子もしくは配偶者」で子の配偶者を含めると9割近くを占めています。認定を受けている方の高齢化に伴い、主介護者の年齢も70歳以上が31.8%、60代が36.4%とシニア世代となっており、介護者の高齢化が目立ちます。

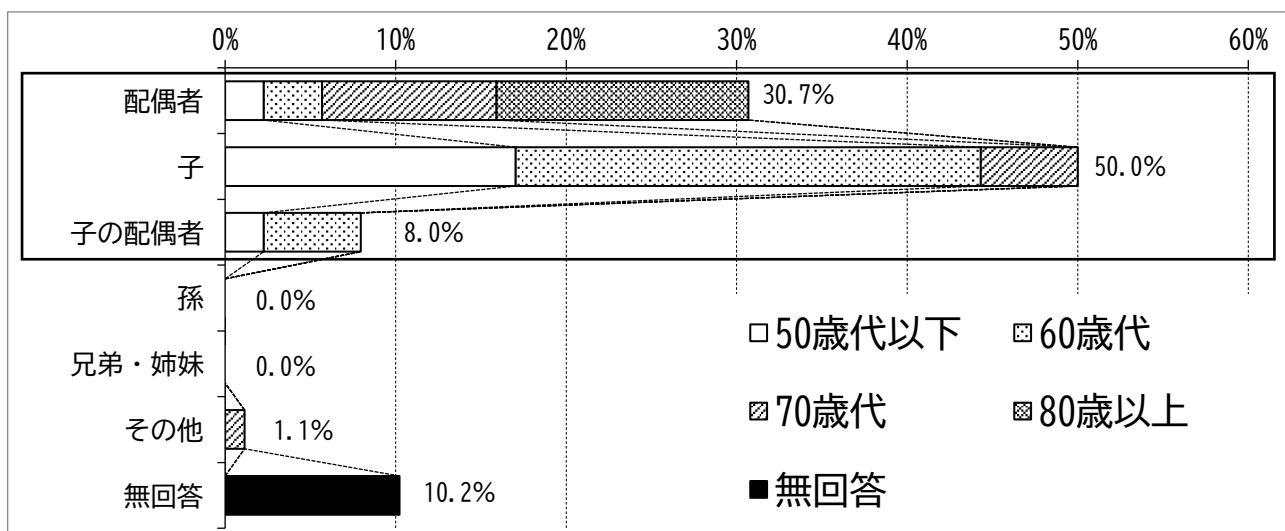


図1 主な介護者の状況

<介護者が行っている介護の内容・今後不安に感じる介護の内容(次ページの図2、図3)>

現在、主な介護者の方が行っている介護の内容で多いものは、外出支援に関すること(付き添い・送迎)、家事に関すること(食事・掃除・洗濯等)、諸手続きの支援で、それぞれ6割程度でした。一方で、排泄の支援・着替えや入浴の支援などの身体的介護については、概ね2割程度でした。

また、主な介護者の方が今後不安に感じる介護については、排泄や入浴介助、認知症への対応が上位を占めています。身体的な介護や知識が必要となる介護についての不安があるようです。

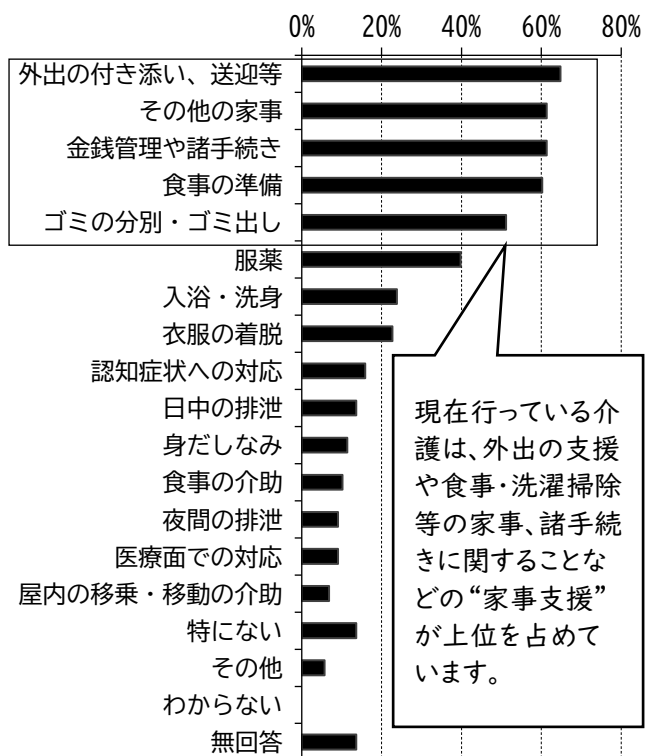


図2 現在行っている介護の内容

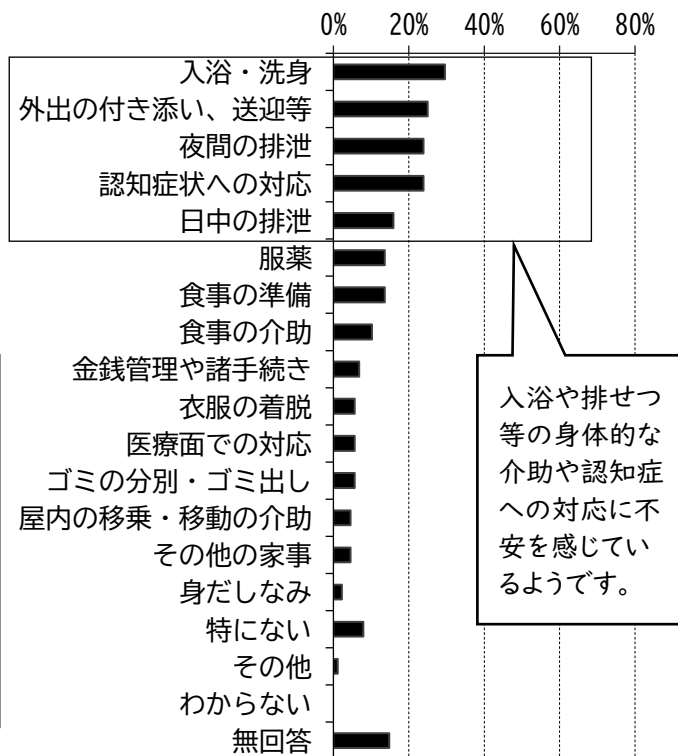


図3 今後不安に感じる介護の内容

②施設入所の検討状況に関すること

<現在の施設入所の検討状況(図4、図5)>

介護認定を受けている方のうち、25.5%の方が検討中もしくは申請済みと回答しています。年代別にみると、80歳以上で82.2%を占めています。世帯分類別でみると、夫婦のみの世帯で多くなっています。

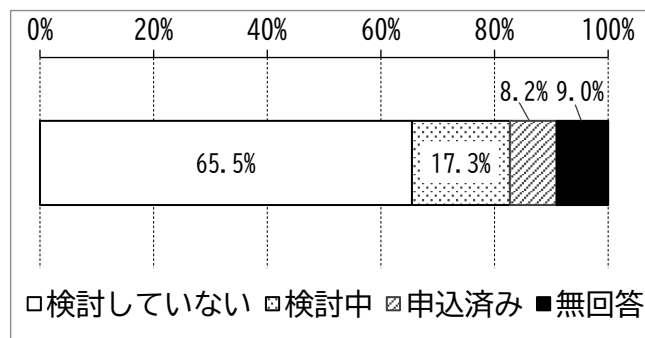


図4 施設入所の検討状況(全体)

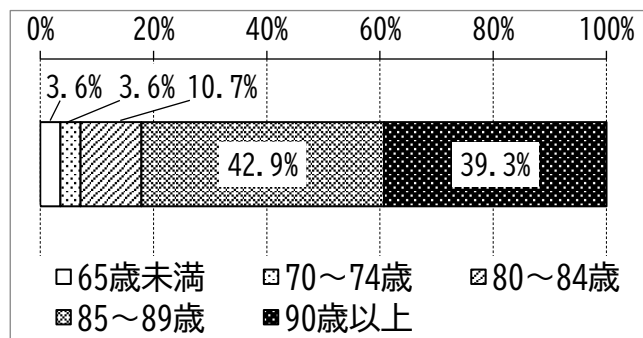


図5 施設入所「検討中」、「申請済み」の年代別状況

<在宅生活が難しくなるタイミング(右ページ上段の図6、図7)>

在宅生活が難しくなる要因としては、排泄介助などの身体介護や認知症の対応などが増えることで、介護の手間が増え在宅介護が難しくなり、これは介護者が将来不安に感じる介護の内容とほぼ一致しており、在宅介護が難しくなる要因となるようです。

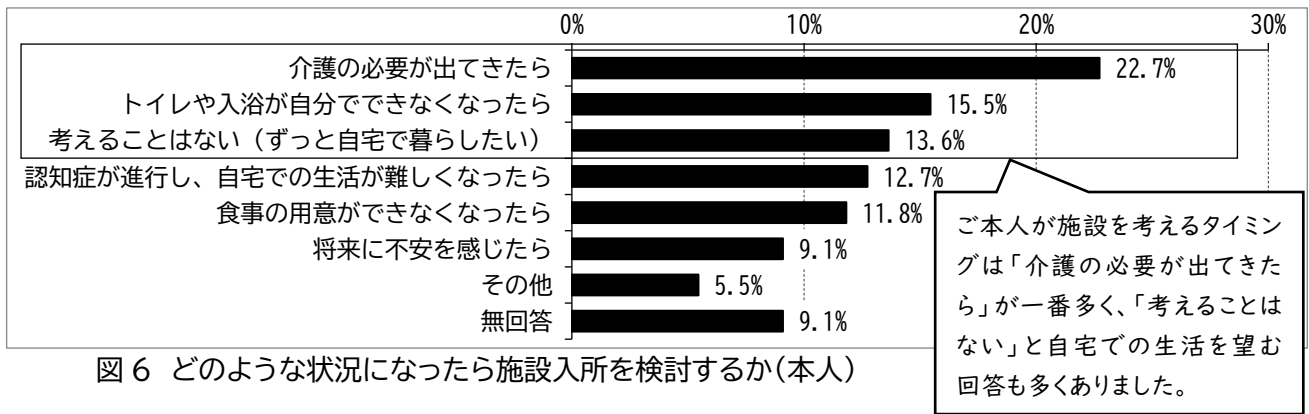


図 6 どのような状況になったら施設入所を検討するか(本人)

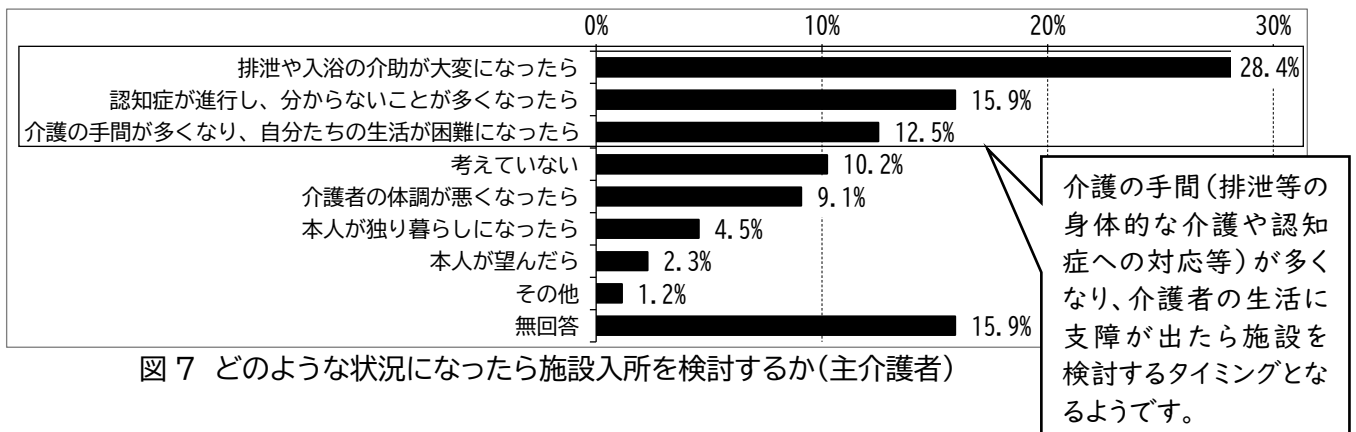


図 7 どのような状況になったら施設入所を検討するか(主介護者)

【介護認定を受けていない65歳以上の方への調査結果(介護予防日常圏域ニーズ調査)】

①身体状況について(図 8、図 9、図 10)

要介護認定を受けていない方で、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思うか」について、66.2%の方が「はい」と答えています。男女別では大きな差は見られませんでした。

「運動を週1回以上しているか」について、55.6%の方が「している」と答えています。男女別では、男性で 59.6%、女性で 52.3%とやや男性に多いです。

さらに、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う」「過去1年間に転んだことがある」「運動を週1回以上していない」の3項目に該当しフレイルのリスクの高い方は、男女ともに15%でした。

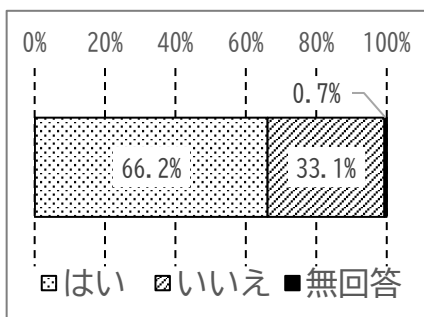


図 8 以前より歩く速度が遅くなったか

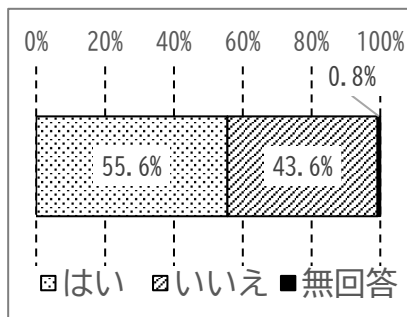


図 9 運動を週に1回以上しているか

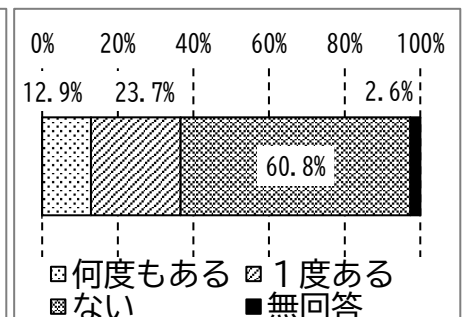


図 10 過去1年間に転んだことがあるか

②地域活動への参加状況について(図 11)

ボランティア、スポーツ関係、趣味などのグループや通いの場、自治会活動や仕事等の何らかの地域活動に参加されている方で、週1回以上参加している活動では、スポーツ関係のグループやクラブが13.1%、収入のある仕事が12.2%、趣味関係のグループが10.1%の順になっています。月1回以上では、スポーツ、趣味に加えて、自治会活動や老人クラブの活動が増えています。

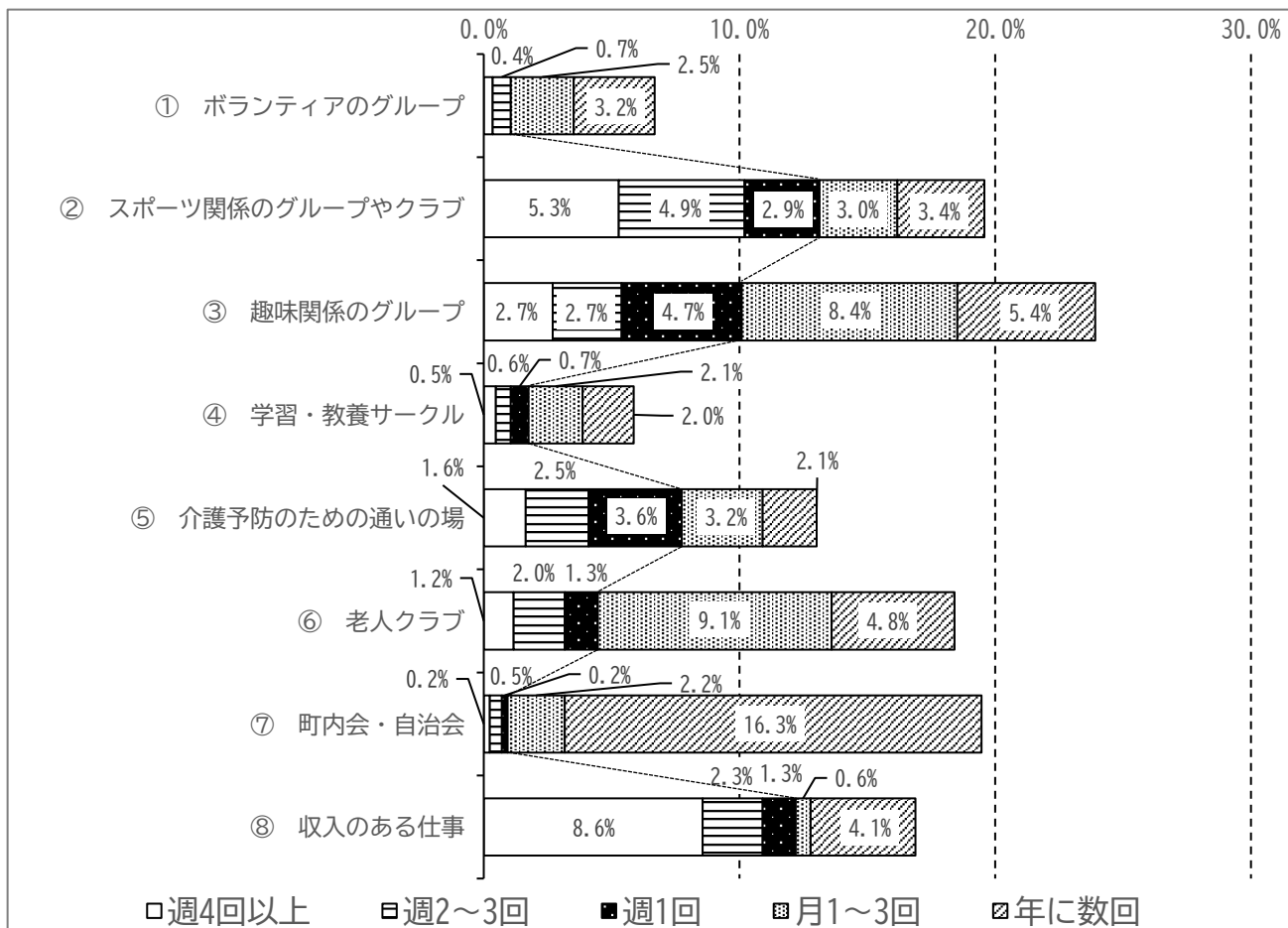


図 11 地域活動等への参加状況

③認知症に関する相談窓口など

認知症に関する相談窓口を知っていると答えた方は全体の40.9%でした。身近な相談窓口としての「地域包括支援センター」の役割や医療機関等の専門相談窓口について、これからも周知していく必要があります。

④成年後見制度に関すること

認知症などで判断能力が低下した際に、各種手続きや財産の管理などをお手伝いする成年後見制度について、内容を知っている方は全体で17.2%であり、こちらも周知方法などの課題があります。

今後、第9期介護保険計画についてのパブリックコメント(意見公募)を11月頃に予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

第9期介護保険事業計画策定に向けた
「在宅介護実態調査」「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」調査結果概要版
令和5年8月
訓子府町役場福祉保健課介護保険係